

「今期のテーマ決定のためのワークショップ」での意見まとめ

概要

と き：令和4年7月29日（金）
ところ：境港市役所 保健相談センター 講堂
参加者：みんなでまちづくり推進会議委員7名
事務局3名（小川課長、立花補佐、竹本）
每熊アドバイザー



テーマ

- ① 自分の「自分ごと化」談
 - ・きっかけ、動機、士気・・・
 - ・「ひとごと」なこと
- ②ひとの「自分ごと化」論
 - ・無関心？不参加？その理由・・・
 - ・「自分ごと」にしてもらうには…
 - ①②各グループ協議30分
- ③「こんな今期の取組テーマはどう？」
 - ③各グループ協議15分 ⇒ 全体協議20分

【グループ協議】

- ①自分の「自分ごと化」談 ②ひとの「自分ごと化」論
グループ1

- ・市報で見て参加してみたいと思った（もっと住みやすい町にしたいと思ったから）。
- ・自分や知人が住みにくいと思っている事を言ってみたいと思った（自分には参加する時間がある）。
- ・ボランティアではなく報酬!!
- ・補助金の内容が知りたかった。
- ・女性の地域や社会への参画。
- ・女性の団体（サークル）の活躍の場を。
- ・境港を良い町にしたい。
- ・私の自治会は3~4班が1グループになり各班の推選者6~8名が寄って、三役を決める。その立場に就かれると頑張らされる。意欲も出る。
- ・自分ごと化のきっかけ（させる、興味を持たせる、ごほうび）
- ・トンド囃子隊（伝統文化継承）自分の住所地も他の地区のように生演奏ができないかと声を掛けられた。
- ・小学生見守り 朝の時間7:20~8:00が空いたから（今はできない）。
- ・金管指導（小学生） ブラスフェスタをつぶさないように（音楽を好きな人を増やす）
- ・吹奏楽団 市のイベントに呼ばれた。「日本丸」きっかけ（聞いて楽しんでもらう）。

グループ2

(ひとごと)

- ・ 原発問題 電気代安いほうが・・・
- ・ レジ袋⇒昔のほうが良かったかも。
- ・ 食料不足
- ・ 地域の自治会活動はひとごと。☆知っている人が少ない ☆ふるいやり方はめんどくさい (オンライン化していない、古くさい)。
- ・ 海岸清掃などの自治会活動。
- ・ 公共交通について。日常的に使っていない。
- ・ 病院に行くのが大変なのは人ごと。今はまだ自分で車で行ける。でも将来は・・・?

(自分ごと)

- ・ 「プロキング」 ごみ拾いとジョギング (自分ごとのきっかけ)。人集め。
- ・ 自治会活動 小学校・子供みまもり隊・公民館活動の3つをつなげたかった (特定の人しかこない、人を多くあつめるため、ひろがり)。
⇒地域のよさを多くの人に知ってもらうきっかけ
- ・ 退職後、時間が余りにもありすぎたので何かをして、地域に恩返しをしようと思った。
- ・ ボランティア活動 人から云われてするのではなく、自分の意志で何かをしようと思った。
- ・ 地域に明るさがほしいのは自分ごと。暗いイナカに住みたくない。
- ・ 教育レベルは自分ごと。子育て世代だから。
- ・ 地域の高齢化は自分ごと。☆過疎地域、人気のない町にすみたくない。
- ・ 選挙などの若者の政治参加。オンライン化がきっかけ。
- ・ 行政オンライン手続きすすめるのは自分ごと。☆いまどきオンライン少ないのは不便!!

【全体協議】

③「こんな今期の取組テーマはどう？」

キーワード

1. ご褒美 : お金や報酬といった金銭的なご褒美
ほめてもらう、感謝される、楽しいといった感情的なご褒美
2. つなぐ : まちづくりに関わる人、モノ、コトの掛け合わせ
つなげる人（コーディネーター）の必要性
3. 見える化 : まちづくりに関わった報酬のリスト化
まちづくりをして良かったことの共有
まちづくりに関わることによって貯まるポイント（みんなまちポイント）

